慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	社会システムデザインにおけるヒューマンインターラクション
Sub Title	Human interactions in the design of social system
Author	高野, 研一(Takano, Kenichi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017.)
JaLC DOI	
Abstract	日本がもつ鉄道技術のうち新幹線システムの安全性と運用の確実さ, サービスの信頼性について(INCOSE)年次国際総会が豪州アデレードで講演した。また, 日本国としての安全保障につき, ブレクシットが与える影響につき, 論文をE-International Relationsに掲載するとともに, 英チャタムハウスが編纂中の日英関係に関する論文集(査読つき)に, 日英ソフトパワーにおける協力可能性につき原稿を執筆, 採用された。さらに, 社会システムのうち, 事故防止に係わる社会システムについて組織における安全文化の研究を推進し, 安全文化の成熟度の定義を行い, 事故を起こしにくい組織の改革の方向性を示した。以上に加え, 社会の諸問題に関する社会学的な調査を行い, 我が国の社会システムの方向性について提言した。 A lecture was implemented about the Shinkansen - system, that is one of typical high technology in Japan. Also,pares was applied to the E-International Relations about the influence of BREXIT to Japan economy and politics. Furthermore, in the field of social system domain, systems relating to accident prevention, safety culture issue has been studied to obtain indications for mitigating accidents as the advances in maturity consideration of organizational culture. Additional to those direction anticipated to various social system were investigated as a social questionnaire methodologies to improve systems.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000002-20170348

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2017 年度　学事振興資金（共同研究）研究成果実績報告書

2018 年 3 月 26 日

研究代表者	所属	大学院システムデザイン・マネジメント研究科	職名	教授	補助額	600　千円
	氏名	高野 研一	氏名（英語）	Kenichi TAKANO		

研究課題（日本語）

社会システムデザインにおけるヒューマンインターラクション

研究課題（英訳）

Human Interactions in the Design of Social System

研究組織

氏　名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position
高野研一（Kenichi TAKANO）	システムデザイン・マネジメント研究科・教授
谷口智彦（Tomohiko TABIGUCHI）	システムデザイン・マネジメント研究科・教授
谷口尚子（Naoko TANIGUCHI）	システムデザイン・マネジメント研究科・准教授

１．研究成果実績の概要

日本がもつ鉄道技術のうち新幹線システムの安全性と運用の確実さ、サービスの信頼性について（INCOSE）年次国際総会が豪州アデレードで講演した。また、日本国としての安全保障につき、ブレクシットが与える影響につき、論文を E-International Relations に掲載するとともに、英チャタムハウスが編纂中の日英関係に関する論文集（査読つき）に、日英ソフトパワーにおける協力可能性につき原稿を執筆、採用された。さらに、社会システムのうち、事故防止に係わる社会システムについて組織における安全文化の研究を推進し、安全文化の成熟度の定義を行い、事故を起こしにくい組織の改革の方向性を示した。以上に加え、社会の諸問題に関する社会学的な調査を行い、我が国の社会システムの方向性について提言した。

２．研究成果実績の概要（英訳）

A lecture was implemented about the Shinkansen－system,that is one of typical high technology in Japan. Also,pares was applied to the E-International Relations about the influence of BREXIT to Japan economy and politics. Furthermore, in the field of social system domain, systems relating to accident prevention, safety culture issue has been studied to obtain indications for mitigating accidents as the advances in maturity consideration of organizational culture. Additional to those direction anticipated to various social system were investigated as a social questionnaire methodologies to improve systems.

３．本研究課題に関する発表

発表者氏名（著者・講演者）	発表課題名（著書名・演題）	発表学術誌名（著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月（著書発行年月・講演年月）
高野研一	JISHA 方式適格 OSHMS 認定事業場に見られる安全衛生レベル向上について　～こうすれば、さらに良くなる安全衛生～「安全文化成熟度について」	全国安全衛生大会	2017/11/09
安部和秀,高野研一	プラント建設プロジェクトの成功に影響する組織のレジリエンス向上とプロジェクトマネジメント施策の関係	日本建築学会計画系論文集	vol.82,No.731,p.153-162, 2017
小嶋二郎, 高野研一	人的過誤事例の新たな学習モデルの提案—自己組織化マップを用いた航空機整備への適用	人間工学	Vol.53,No.3,pp.85-91, 2017
遠藤正之, 高野研一	金融情報システムが経営戦略に与える影響の考察—オンライン証券業界における競争事例—.	日本情報経営学会誌	vol.37,No.1, pp.76-88, 2017
宇野研一, 高野研一	階層別インタビューに基ずく安全文化優良事業所の価値観	安全工学	Vol.56, No.5, pp.374-382, 2017.
大塚有希子,高野研一	IT プロジェクトの要求マネジメント能力向上のための国際標準知識体系を利用した成功モデルの策定	日本情報経営学会誌	vol.37, No.3, pp.86-96 2018
井上省吾,高野研一	TEM モデルを活用した海難事故の要因分析と防止策	安全工学	Vol.57,No.1, p.65-75,2018
吉田佳絵, 高野研一	現代企業においてパフォーマンス向上に寄与する組織風土要因に関する研究	経営工学会誌	Vol.68,No.2, 2018.
Tomohiko Taniguchi	Brexit: The View from Japan (or the "Tokyo Consensus")' in "Brexit: Global Perspectives	E-International Relations	https://www.e-ir.info/2017/04/02/brexit-the-view-from-japan-or-the-tokyo-consensus/)

Tomohiko Taniguchi	Soft Power Alliance: Britain and Japan,″ a chapter article accepted by the Royal Institute of International Affairs (Chatham House) in a forthcoming,	the Royal Institute of International Affairs (Chatham House)	peer-reviewed, publication under the title 'The UK-Japan Relationship, Moving Forward
谷口尚子, 栃原修	経済環境と市民的価値観の変容	池田謙一編著『「日本人」は変化しているのか—価値観・ソーシャルネットワーク・ 民主主義	勁草書房, pp.19-43, 2018
平松佑麻, 谷口尚子	伝統的工芸品に対する購買意欲に関する調査・実験研究	21 世紀 ヒューマン・インタラクション・リサーチ・センター研究年報	vol.14,2018
谷口尚子	地方自治・地方分権の政治争点化	地方自治法施行 70 周年記念論文集	総務省自治行政局, 2018